

## 第1回 リージョナルステート研究会研修会(見学会)報告 寿都町～歴史と文化の出会い&子どもたちとのジャガイモ植え

人見美哉

### 1. はじめに

2010年6月5～6日の日程で、寿都町にて第1回RS研究会研修会(見学会)を開催した。本研修会は、通常行事である寿都町の子どもたちとのジャガイモ植えサポート授業も兼ねて行われたもので、歴史建築物である佐藤家や、風太風力発電所、文化センター「ウィズコム」などを見学し、寿都町の歴史と文化に触れることができた。

参加者は老若男女17名であったが、天気にも恵まれ非常に有意義な研修会であった。以下に報告する。

### 2. 研修会(第一日)

#### (1) 佐藤家見学

佐藤家は、ニシン漁全盛期の頃、歌棄、磯谷地区を管理する「場所請負人」であった。正確な建築年代は不明で、明治10～20年頃の建築と推定されている。当時は役場や郵便局の役割をもち、入口には郵便局窓口跡が残る。建物の中では、居間の高い天井にある採光窓、尾形光琳の描いたふすま絵(模倣絵の可能性有り)、当時では珍しい磨りガラス等々、非常に貴重なものを見学できた。建物の中はとても寒く、冬は冷蔵庫の中のほうが暖かいそうで、今で



写真-1 佐藤家居間の採光窓

も住んでいるとのこと。また佐藤家前浜には「袋間」と呼ばれる岩盤を四角く掘った跡があり、船着き場やニシンの一時保管に利用されていた。

#### (2) みなとま～れ昼食

みなとま～れは寿都町の道の駅である。昼食にのり弁をいただいた。のりは地元で捕れた岩のりを使用。またのり弁の中身は、地元で捕れたしらすの生炊きが大量に入っており、非常に美味であった。昼食後は集合時間まで各自町内散策で過ごした。



写真-2 昼食の「のり弁」

#### (3) 寿都小学校ジャガイモ植えサポート授業

寿都小学校ジャガイモ植えは、RS研究会のサポート授業の一つである。当初予定していたサツマイモが天候不順による生育不良で急遽ジャガイモへ変更された。

授業の流れは、①ジャガイモについての説明、②植え方の説明、③ジャガイモ植え作業である。①②では、子どもたちが興味を示すようクイズ形式で行っている。③では作業の流れだけを指導し、実作業は全て子どもたちで行った。なお、防風柵の設置、

畑へのアクセス階段の設置など力作業は寿都町教育委員会およびRS研究会でサポートしている。



写真-3 ジャガイモ植え

#### (4)文化センター「ウィズコム」見学

文化センター「ウィズコム」では寿都の歴史について展示物を見学した。展示されているのは、寿都町で発掘された平安時代の土器類、ニシン漁全盛期の前浜の模型やニシン漁で使用していた漁具類、日常生活品、昔使用された教材や撮影された写真等であった。さらには文化センターのご厚意で非公開展示物まで見学させてもらった。当時の日常品を見て、懐かしい話で盛り上がった。



写真-4 漁具の数々

#### (5)寿都町こどもふれあいセンター見学

ウィズコムに隣接した寿都町こどもふれあいセンターを見学した。この施設はECOの考えを最大限に取り入れた施設で、「木育」を強く意識し、地域材である間伐材の集成材を建築材としたり、プラスチック

クを用いない木の玩具を使用するなどしている。また夜間電力を用いた床暖房システム、落ちて割れない蛍光灯の使用など、子どもが安心して楽しめる施設として建設されている。また、広い空間を意識して可能な限り天井を高くした設計をしている。



写真-5 保育園の教室 天井が高い

#### (6)風太風力発電所見学

第一日目の最後に、2007年度から運用されている風太風力発電所を見学した。寿都町が風を資源として始めた風力発電事業で、現在寿都町では全部で9基の風車が発電を行っている。今回見学したのはその中でも最も新しい風太風力発電所のもので、2007年に建設されたうちの1基であった。

高さはブレードの最高点で約100m、ローターの直径は71mととにかく巨大であった。ドイツ製で故障率が低くかつ騒音が抑えられた設計になっている。事実ブレード直下にいたが、ブレードの風切り音は全く聞こえなかった。年間発電量は



写真-6 ブレードの形状に秘密あり

25,287,000 kWh と 6,300 世帯の発電が可能であるとのこと。風のある町だからこそできる事業であり、寿都町の先見の明に感心した。

### (7) 交流会

寿都町主催による交流会が行われた。捕れたての寿カキ、ホタテ、小女子が振る舞われ、地元特産物や見学した施設の話で盛り上がった。



写真-7 交流会での乾杯

## 3. 研修会(第二日)

### (1) 弁慶岬見学

第二日目の最初の見学地は、弁慶が同志の到着を待ち続けた伝説が残る弁慶岬であった。岬には弁慶が待つ姿を再現した銅像が建てられており、岬の名前の由来が分かる。海辺には海食に伴って形成された平坦な岩礁が広がっていた。ここの岩礁は水冷破碎岩や凝灰岩、玄武岩の貫入岩などの火成岩で構成されており、その昔寿都周辺が海の底であったこと、

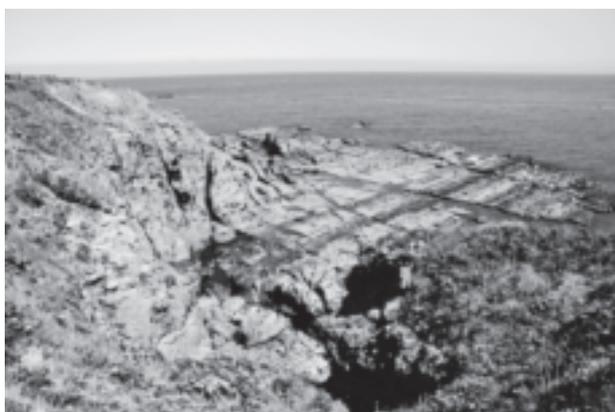


写真-8 弁慶岬で見られる地層

また海底火山が存在しそれが絶えず噴火していたことが想定できる。

### (2) 瀧山宅ガーデニング見学

雑誌でも有名な瀧山さん宅のオープンガーデンを見学した。広い庭にはびっしりと植物が植えられていた。季節柄、まだ咲いている花は少なかったが、黄色の花、紫色の花、白色の花と色とりどりであった。かなり名の知れたオープンガーデンらしく、夏には見学者も多く来るようである。お庭を持っておられる方は、是非一度見に行かれると良いと思う。



写真-9 瀧山さん宅のオープンガーデン

### (3) 畑谷宅「前浜」見学

畑谷さん宅の前浜では浅い岩礁が広がっており、佐藤家の前浜で見たものと同じ「袋間」跡があった。現在はそれを利用して小さな漁港となっているようである。周辺は浅瀬であるため磯の生物や地質を観察するのに適しており、参加者の中には岩礁を渡っ



写真-10 畑谷さん宅「前浜」

て沖の方まで移動し、磯の生物の観察を行っていた。

#### (4)「おさかな市」見学

第二日目はちょうど寿都町のイベント「おさかな市」開催日で、お土産購入がてら見学した。カキやホタテ、甘エビなど主要海産物の販売はもちろんのこと、たくさんのお店も出店していた。周辺の商店の人も手伝いで来ており、気さくに声をかけてくれて寿都人の暖かさを感じた。40分の漁船遊覧も行われており、時間があれば是非乗船し、海からの寿都、弁慶岬を見てみたい。



写真-11 おさかな市

#### 4. 終わりに

1泊2日の短い研修会であったが、非常に中身の濃い有意義な研修会であった。ニシン全盛期に建築された歴史ある佐藤家、ジャガイモ植えでの子どもたちとの交流、寿都の歴史が全て分かるウイズコム、ECO／木育の意識が強く感じられたこどもふれあいセンター、最新の風力発電施設の風太風力発電所、地質教材になりうる弁慶岬、庭造りの参考書瀧山さん宅オープンガーデン、海の幸でいっぱいの畑谷さん宅前浜等々、見学した箇所全てで興味を持って見学できた。

今回見学はできなかったが、幌別水力発電所跡や寿都鉱山跡、寿都鉄道跡の見学、母衣月山ほろつきやまからの眺望、月越山脈ブナ林見学、弁慶岬での地質巡等々、寿都町はまだまだ見所が多い。

今回の研修会に当たり、寿都町役場と寿都教育委員会の皆様には見学施設の対応や交流会を開催して

頂いた。ここに深く謝意を表する。

#### 5. 参考文献

- 1) 寿都町の自然・歴史・産業のガイドブック 寿都町産業振興課
- 2) 寿都町観光ガイドマップ 寿都町
- 3) 寿都町風力発電所パンフ 寿都町
- 4) 寿都町ホームページ  
<http://www.town.suttu.lg.jp/>

人見美哉 (ひとみ よしや)

技術士(応用理学部門)

株式会社ドーコン 地質部

